

NO. 182

2008. 8. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

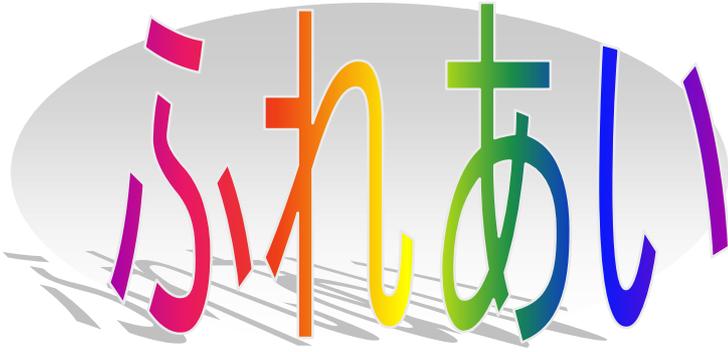
(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623



障害者と地域をつなぐネットワークづくりに向けて

東成区保健福祉センター

地域福祉担当課長 森脇 宣子

東成区は、大阪市の東部に位置する面積四・五五平方キロメートル、人口八万人弱で、歴史は古く、昔ながらの人情にあふれたまちです。平成一八年三月に東成区地域福祉アクションプランを策定し、「みとめあい ささえつながり」の「こころのわ」を合言葉に、ネットワークづくりに取り組んでいます。

成スポーツセンターで『こどもの日フェスタ』も開催されました。『おもちゃ図書館』の活動では、区社会福祉協議会が支援して、障害のある子どもを集いと、親の集いがそれぞれ月一回ずつ開催され、少しずつつながりの輪が広がっています。

全日本手をつなぐ育成会から…

くことにより、今後とも一歩一歩着実にネットワークづくりが進んでいくことを願っております。

また、毎年十一月に開催される区社会福祉協議会主催のイベント『ふれあい広場』は、障害者施設や福祉作業所等からもバザーや模擬店などを出展され、一〇〇人以上の方が来場されて大変にぎわいます。

東成育成園では、開園以来、園の方たちと地域の方たち双方のたゆまぬご努力によって、地域主催の「ふれあい喫茶サロン」へ園で手作りされたお菓子を提供されたり、サロンへも参加されるなど地域との交流を深めておられます。

東成区には、知的障害者更生施設一カ所、地域活動支援センター一カ所、障害者小規模作業所五カ所、小規模通所授産施設三カ所があります。障害者と地域をつなぐネットワークづくりについて、いくつか取り組みをご紹介しますと思います。

また、区内のF作業所では、区食生活改善推進員協議会との協働で料理教室を開催され、相互理解を深めることができました。このようなささまざまな形で交流の輪が広がっています。

区保健福祉センターが

事務局となっており、地域支援調整チーム障害者専門部会(区地域自立支援協議会)では、今年度は、障害者のネットワークづくりに向けて、『障害のある方の社会資源マップ』の作成に取り組んでいるところと

区体育指導委員協議会では、月一回、障害のある人もない人も一緒に汗を流す『スポーツ教室』を開かれています。五月には東

○平成二十年六月一日から道路交通法が一部改正され、自動車後部座席の座席ベルトの装着が義務化されました。しかし知的障害のある人たちの中には、シートベルトの着用により、パニックを起こしたり、顕著な行動障害が現れるなど、着用を強制することにより、かえって安全が脅かされる場合もあることから、警察庁交通局に対し、知的障害のある人たちに ついては、シートベルト着用義務の適用除外として取り扱いがなされるよう要望書を提出しました。